



# 田谷の風

第53号

発行日：令和7年5月10日（四半期発行）

介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙

〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3

TEL:045-858-5882

発行責任者：中島典子



## やりがいは「好きこそ物の上手なれ」

桜花の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私が前回、一面に記事を書いたのが平成25年でしたので、12年ぶりの一面となります。

その年に生まれた子供がもう小学6年生…時の流れは早いものです。

この12年間で感じたことは「この仕事はやりがいがある」です。もちろん辛い事も少なくはないのですが、それ以上に楽しいと思う瞬間が多くあります。日常でのご利用者との何気ないやり取りや、ご利用者が出来なかったことが出来る様になった時など、この仕事をしてよかったですと心から思います。

また、ケアポート・田谷の良い所は普段は様々な考えを持つ職員たちが、ここぞという場面では一つになり目標を達成するという意気込みを見させてくれるところです。田谷祭りやクリスマス会などの行事の際におこなう出し物や劇で見せる一体感は最たるところです。普段はシャイでコミュニケーションを取る事が苦手な職員も一人でも多くのご利用者に楽しんでもらおうと劇では進んで役を務めてくれます。

これからもご利用者にとってケアポート・田谷が良い施設であるように、職員一人一人が努力を続けていきますので、ご家族の皆様には暖かく見守って頂ければ幸いです。

介護課長：須永達也



寒暖差の厳しい時期が続いておりますが、元気で過ごされていますでしょうか。

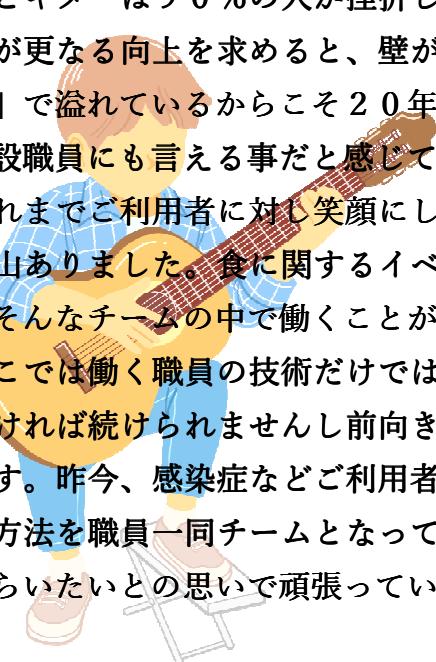
私はご利用者に少しでも喜んでいただければと趣味であるギターを時折弾かせて頂いています。調べによるとギターは90%の人が挫折してしまうそうです。続けられたとしても技術はある一定まで上達しますが更なる向上を求めるとき、壁が出現します。ギターという楽器の理屈を学び理解したいという「気持ち」で溢れているからこそ20年以上ギターを弾き続けられるのだと思います。

施設職員にも言える事だと感じています。

これまでご利用者に対し笑顔にしたい、楽しんでもらいたいという気持ちから新しい提案や取り組みが沢山ありました。食に関するイベントやリハビリの工夫、時にはマツケンサンバも踊ってくれます。私もそんなチームの中で働くことができて大変うれしく思います。

ここでは働く職員の技術だけではない「気持ち」を沢山感じる事ができます。好きという「気持ち」がなければ続けられませんし前向きな行動はできない事だと思います。そして続けるからこそ壁が出現します。昨今、感染症などご利用者やそのご家族の生活が制限されてしまうような事がありますが、最善の方法を職員一同チームとなって乗り越えていきたいと思っております。この施設で良かったと思ってもらいたいとの思いで頑張っていきたいのでこれからもよろしくお願ひします。

看護課長：玉置 竜也





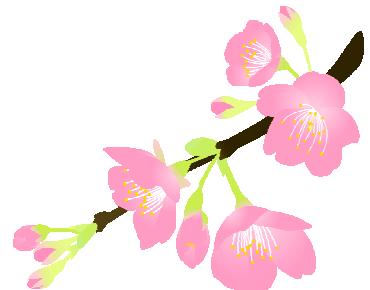
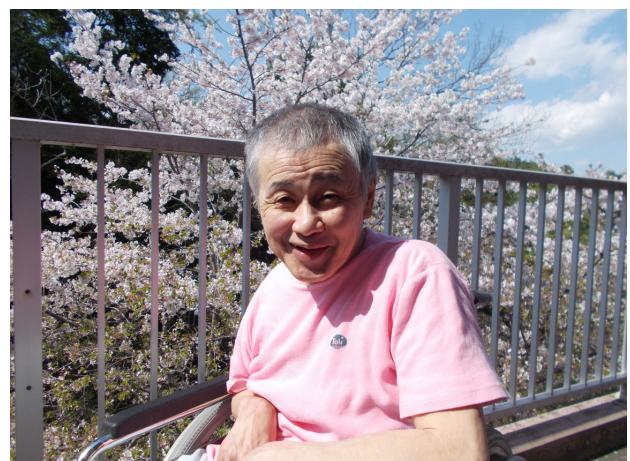
4月になりやっと暖かさを感じる季節になりましたが、3月中はあいにくの雨や気温の変化に見まわされ、なかなか満開にならず桜の見頃を見計らい、ご利用者の方々とお花見をすることが出来ました。

1週間かけご利用者と桜を眺めましたが、その度に「きれい。何回見ても飽きないわね」と心和み喜ばれていきました。

またコロナの影響で外出は控えていましたが、今回少人数でのドライブを行う事が出来ました。鎌倉山～江の島の沿岸をドライブ。残念ながら桜は殆ど咲いていませんでしたが、江ノ電や海を眺め、皆様息抜きが出来たようです。ドライブ後は飯田牧場のジェラートを購入。帰所後、皆様で食し終始笑顔で過ごせました。

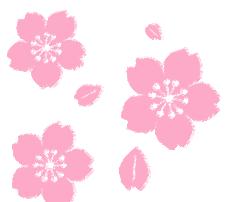
今後は外出の機会を増やし、普段見ない景色などに触れ、楽しく日々を過ごせるよう支援していきたいと思います。

2階介護：渋谷 柴田



春の訪れとともに、毎年恒例のお花見を行いました。施設の庭には満開の桜が広がり、穏やかな春風が桜の花びらをきれいに揺らしていました。ご利用者に付き添いゆっくりと桜の木へと移動しました。直前までは荒天が続き今年のお花見は開催出来るか危ぶまれていましたが、当日は良い天気に恵まれ気温も暖かく絶好のお

春の訪れとともに、毎年恒例のお花見を行いました。施設の庭には満開の桜が広がり、穏やかな春風が桜の花びらをきれいに揺らしていました。ご利用者に付き添いゆっくりと桜の木へと移動しました。直前までは荒天が続き今年のお花見は開催出来





花見日和となりました。穏やかな天気の中でも時々花びらが舞い上がる景色に、皆さんの満面の笑みが見る事ができました。桜を鑑賞するだけでなくご利用者の皆さんとゆっくり色々な話ができ、また思い出を共有することで職員も良い時間を過ごす事ができました。

毎年きれいに咲いてくれる桜に感謝しつつ、来年もまた、こう



してみんなで桜を愛でる時間が楽しみですね。



3階介護主任：森野



## 開花宣言 ~デイケアと我が家活動~

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、桜の開花から花冷えを経て、ようやく過ごしやすい暖かさになりました。デイケアでは毎月のアクティビティとして“作業週間”というものを設けています。この作業習慣では、季節をテーマとした習字、絵手紙、折り紙クラフト等を提供しており、ご利用者には、毎月新鮮な気分で楽しんで頂けていると思っております。



今回ご紹介する4月のテーマは、もちろん“春”。華やかな季節を皆様に表現して頂きます。習字では「卯月」「山桜」「花見」を書写。絵手紙では「鶯」「筍」「蒲公英」に真心を込めます。折り紙クラフトでは、春を彩るテーマとして「桜」を採用しました。ちなみに現在は「チューリップ」を作成中です。リハビリにおいても“春”は普段と違った効果をもたらします。窓から桜を眺めながら行うトレーニングはモチベーションを高め、いつもより疲労を感じにくくする効果があるようです。屋外歩行訓練においては、はらはらと舞い落ちる桜の花びらの中、いつもより軽い足取りに職員との談笑も弾みます。あっという間に通り過ぎる、儂いながらも心地よい春の季節。この素敵な時間を、ご利用者の皆様と大切に楽しんでいきたいと強く思います。



ここからは私事になりますが、最近始めた僕の趣味をご紹介させて頂きます。家の近くに、良く利用する100円ショップがあるのですが、つい先日、入り口付近にあった赤い色にふと目が止まりました。それはトマトの種。表装には、みずみずしい真っ赤なトマトが載せられています。「すごく美味しそう。私でも作れるのかなあ？」と考えたのがきっかけです。そう私の新しく始めた趣味は、家庭菜園です。お店には色々な種が並んでいます。思いを巡らせながら、いくつかの種と土（肥料）を購入。折角なので子供と一緒に花壇も作りたいなと思い、声を掛けてみましたが全く関心がない様子。あっさり断られてしましました。「うーん、残念」しかたなく一人で張り切って、花壇と菜園作りを行いました。僕にとっては、全ての工程が新鮮で、本当に楽しく取り組むことができました。達成感も一際です。彩り豊かな花々



や、豊年満作を夢見るだけで、なんだか元気いっぱいになりました。さらに後日、歌でも有名なマリーゴールドの種を蒔きました。ちょっとのめり込みすぎです。この経験をもとに（まだ始めたばかりですが…）、いつかデイケアのご利用者とも、園芸を楽しむことが出来たらいいなあと思いました。

ちなみにトマトの花言葉は、“感謝”と“完成美”。この言葉を胸に、皆様に感謝をしながら、製作過程を楽しみ納得いただけるものを作るお手伝いが出来ればと思います。これからも、よろしくお願ひいたします。

通所介護副主任：上野



お花見の季節です。今年の桜は予想していたよりも少し早く、職員は大慌てでお花見の準備に取り掛かりました。ところが、万全で迎えた筈のお花見週間でしたが、それまで穏やかだった陽気が一転して外は雨模様。せっかく急いで準備したのに、予定通り行えなくなってしまいました。それからは雨や寒さが数日続き、天気予報とにらめっここの毎日を過ごしました。

ところが、災い転じて福となしハラハラしながら待ちわびたお花見は、素晴らしいタイミングで再開することが出来ました。花冷えにより散らずに耐え忍んでいた花たちに、遅れて咲き始めた花たちが追いついたようです。これぞ春爛漫。これまでにない素晴らしい桜を眺めることが出来ました。

ケアポート・田谷の桜の木は、階下の斜面に植わっているため、ちょうど目線の高さに咲き誇ります。普段ではあまり目にすることができない、上から見下ろしたり手で触ったり出来るお花見です。どこからか、まだきこちない鳴き方のウグイスの声も聞こえてきます。姿は見えませんが、「ホーホケキョ」と聞こえると、「上手に鳴けたね！」とご利用者の間から笑顔の拍手喝采が起こりました。

お茶とお菓子を手に過ごす優雅なひと時は如何でしたか？五感を通して楽しめた、記憶に残るお花見になったと思います。

いささか手前味噌ではありましたが、これからも皆さんに楽しんでいただける素敵なお花見イベントが行えたらと思います。

通所介護：東間

